

平成31年度(令和元年度)

まちづくり推進部 十文字地域局の方針書

局名	まちづくり推進部 十文字地域局
局長名	和泉 久夫

1. 局の使命(ありたい姿)

地域の身近な行政拠点として市民満足度向上に努めるとともに、地域住民が安心して生き生きと暮らせる地域づくりを推進する。

2. 局の抱える課題(現状)

- (1) 十文字地域多目的総合施設建設の円滑な事業推進
- (2) 十文字地区と三重地区における地区交流センター化に向けた進捗
- (3) 植田・睦合保育所の民間譲渡に伴う移管準備作業の完遂

3. 今年度の『スローガン』

市民のために、市民とともに考え、ともに進める協働のまちづくり！

4. 今年度の方針

- (1) より満足度の高い市民サービスの提供を目指す。
- (2) 十文字地域多目的総合施設建設事業の安全かつ円滑な進捗を図る。
- (3) 市民協働による活力ある地域づくりを推進する。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	より満足度の高い市民サービスの提供を目指す。
	取組内容	①「元氣な挨拶」「気持ちの良い声かけ」を励行し、明るい雰囲気職場を築く。 ②お客様の立場に立った思いやりのある親切・丁寧な対応を心掛ける。 ③職員個々が自己研鑽に努め資質の向上を図るとともに、連携によるチーム力の向上を目指す。
(2)	実現したい成果	十文字地域多目的総合施設建設事業の安全かつ円滑な進捗を図る。
	取組内容	①十文字地域多目的総合施設建設に向けて、関係部署等との連携を密にしながら、適切な進捗管理のもと円滑な事業推進を図る。 ②来年度の供用開始までの様々な準備作業について、計画立てて一歩ずつ着実に実施していく。
(3)	実現したい成果	市民協働による活力ある地域づくりを推進する。
	取組内容	①地域コミュニティ活動への積極的な支援および住民交流機会の拡大により、共助意識や協働意識の醸成を図る。 ②十文字・三重地区交流センター化に向けて、公民館関係者および市民の理解を深める為の機会を作るとともに地域運営組織設立への取り組みを支援していく。

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1)より満足度の高い市民サービスの提供を目指す。
 - ・毎週地域局連絡会を開催し、当面の事業予定の確認と所管業務の課題等の意見交換により情報共有を図っている。来庁者への積極的な声掛け及び適切な対応により不満、苦情等なく経過している。
- (2)十文字地域多目的総合施設建設事業の安全かつ円滑な進捗を図る。
 - ・2年目となる十文字地域多目的総合施設の建設については、年度当初からの造成工事の発注を始めとして、建設本体工事、電気・機械設備工事、補助金申請手続きを含む地中熱設備工事の発注等、当初のスケジュール通り順調に推移できた。
 - ・その他、現庁舎解体時に見込まれるアスベスト除去工事の分析調査を追加発注した。
- (3)市民協働による活力ある地域づくりを推進する。
 - ・広く住民交流機会の拡大を図るため、新地域づくり補助金の周知を図るとともに、補助金活用希望の団体への交付申請手続きの支援に努めた。また補助金活用により今年も伝統的イベントである3地区民大運動会を開催した。
 - ・地域自主運営組織の必要性を知っていただく為、関係者のワークショップへの参加や地区会議において説明会を開催する等理解を深めてきた。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- (1)より満足度の高い市民サービスの提供を目指す。
 - ・今後も引き続き、明るく元気な挨拶・声掛けを励行すること、親切・丁寧かつ迅速な対応をすることで、市民の皆様にご気持ち良く来庁していただけるような職場環境づくりに努めていく。
- (2)十文字地域多目的総合施設建設事業の安全かつ円滑な進捗を図る。
 - ・新施設の建設事業と併行して、供用開始に向けた種々の準備作業を計画的かつ適切に行っていくため、局内全体として取り組んでいく体制づくりを行い、事業を推進していく。
 - ・令和2年8月末の竣工に向けて、今後も施工業者や関連部署と連携を密にししながら、しっかりとした進捗管理と十分な安全対策を施し事業の推進を図る。
- (3)市民協働による活力ある地域づくりを推進する。
 - ・下期における地域コミュニティ活動へも積極的に協力・支援していく。
 - ・引き続き、十文字/三重地区の地域自主運営組織の設立に向けた効果的な取り組みを検討、実施していく。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- (1)より満足度の高い市民サービスの提供を目指す。
 - ・局内、課内での情報共有の徹底を図るとともに、来庁者への挨拶の励行、積極的な声掛けと親切丁寧な対応を心掛け、窓口では待席の番号付けをするなどの工夫により、不満や苦情も無く一年を過ごすことができた。
また、研修に参加した際には、係内で研修内容を共有することで職場全体としてのスキルアップを図り、職員相互の協力体制を築きながら業務を遂行できた。
- (2)十文字地域多目的総合施設建設事業の安全かつ円滑な進捗を図る。
 - ・現在は建物本体の基礎工事を完了し、躯体部分の配筋工事と鉄骨の組立て工事を行っている。電気と機械の設備工事については基礎部分に係る配管工事を終え、地中熱ヒートポンプシステムでは地下100mの熱交換井27本の設置工事を全て終えており、年度当初に予定していた工程通りの順調な進捗であった。
 - ・供用開始に向けた様々な作業を計画的かつ適切に行っていくため、局内に「新施設整備局内検討会」を設置し事業推進に当たった。来年度もこの検討会を有効に機能させると共に、施工業者や関連部署と連携を密にししながら、事業の円滑な進捗を図っていく。
- (3)市民協働による活力ある地域づくりを推進する。
 - ・平成30年度地域づくり活動補助金等の利用率が低かったことから、年度当初より補助金制度の周知と利用団体への協力、支援を積極的に行ってきたが、結果として、利用団体数、交付補助金額ともにそれほどの伸びはなかった。
来年度には、より効果的かつ広範な周知に努めてまいりたい。
 - ・西地区交流センターは順調な運営を行っている。十文字、三重地区の交流センター化については、関係者のワークショップへの参加や地区会議での説明会を通して理解を深めてきたが、地域自主運営組織準備会設立までの展開とはなっていない。年度末の三重地区公民館長の交代を一つの契機として、今後の効果的な取組みを検討していきたい。